

結いだより

社長メッセージ

投資のその先へ
「いい会社」と考える、これからの豊かさ



「いい会社」訪問記
次世代の介護を目指して
INOVEL BASE
(イノベルベース)

運用コラム
第17期収益分配金

※P8の注意事項を必ずご確認ください。



鎌倉投信
KAMAKURA TOSHIN

MESSAGE

社長メッセージ

投資のその先へ

～「いい会社」と考える、これからの豊かさ～

2026年10月4日(日)横浜大さん橋ホールで開催する「結い2101」受益者総会まで、あと2ヶ月となりました。

今年の総会テーマは、「投資のその先へ～『いい会社』と考える、これからの豊かさ～」です。

社員が知恵を絞り、数ある候補の中から最終的にこの「問い」をテーマとして選んでくれました。改めて向き合ってみると、私たちにとって実に本質的で、大切な問いだと感じています。

今回のテーマに込めた想い

世界各国が経済成長を追い求め、株価も上昇を続けています。AIの進化も著しく、これまで不可能だったことを驚くほどの速さで可能にしつつあります。しかし、その一方でどうでしょうか。利益を求めて膨張し続けるマネーとは裏腹に、気候変動や世界各地の紛争、広がる経済格差など、私たちが直面する構造的な社会課題が好転する兆しは感じられません。本来、社会を豊かにするための「手段」であったはずの経済が、いつの間にか経済規模の拡大そのものを「目的」とする社会へと、主従逆転を起こしているように映ります。こうした先行き不透明な時代だからこそ、受益者の皆様に、投資の「向こう側」を「見て、触れて、感じて」いただきたい。今回のテーマに込めた想いがここにあります。そして、このテーマの中で、こんなことも感じていただく機会になればと思っています。

- 金銭的な豊かさを求める私たちや企業、社会にとって「真の豊かさとは何か」
- 「企業は何のために存在するか」
- 私たちは「何を信じ、大切なお金を誰に託すのか」
- そして、「投資が持つ未来を拓く力とは何か」

投資先の経営者、そして受益者の皆様とともに思考の枠を広げて考え、私を含め、参加する一人ひとりが「大切にしたいもの」を見つめ直す場にしたいと想いを巡らせています。



投資は「お金をふやす手段」から「社会をつくる営み」へ

投資とは「自分のお金をふやす手段」と考える方が多いでしょうし、それは決して間違いではありません。しかしそれは、投資が持つ「利益(時として損)を投資家に還元する」という、狭義の経済的機能の一側面に過ぎません。

もちろん、結果としての利益は大切です。一方で私たちが忘れてはならないのが、投資の利益を生み出す「過程(プロセス)」と、「いい社会」や「いい未来」に向けた広がりです。

例えば株式投資であれば、企業活動を通じて新たな産業や商品・サービスが生まれることが利益の源泉になります。税金を原資にした公共投資であれば、生活に不可欠なインフラ整備や、教育・福祉が身近にある環境づくりへの取り組みが、生活者(納税者)の便益(リターン)の源泉です。

投資家(お金を出す側)のリターンは、何もせずには得られる「濡れ手に粟」ではありません。こうした便益をもたらす多くの人や企業の取り組み、つまり「お金を介した人と人とのつながりの賜物」であることを忘れないようにしたいものです。

そして、利益を生み出す過程で自然環境が荒廃したり、格差が拡大するなど社会の質が劣化するようでは本末転倒で、本当の「豊かさ」にはつながりません。投資とは本来、私たちが暮らす社会や未来を自ら形づくっていく営みなのです。

普段、無意識に流れるお金や投資に出し手の想いを込めたとき、それは社会や未来に向けた「意思表示」へと変わります。そうなったとき、受益者の皆様一人ひとりが「いい会社」を応援し、投資の先にある「いい社会」「いい未来」をつくる当事者であり、社会を根底から変革していく「力」そのもの、といえるでしょう。

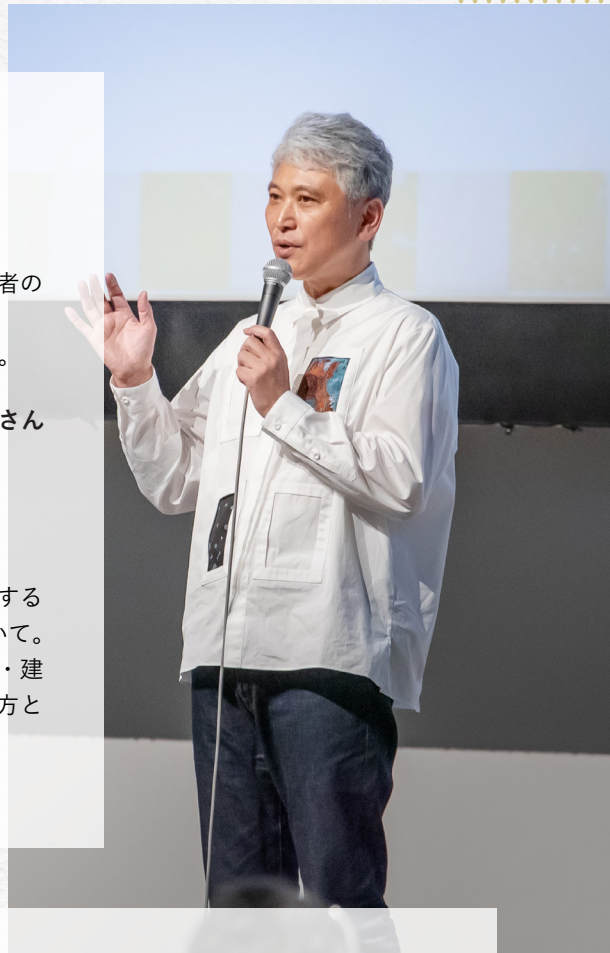
多くの課題を抱える難しい時代だからこそ、投資が個人の資産形成という枠を超え、心豊かに生成発展する社会を「共につくる営み」へと進化すると面白い時代になるのではないのでしょうか。

「これからの豊かさ」を体現する 経営者とともに

総会の後半は、事業を通じて「真の豊かさ」を追求し続ける「いい会社」の経営者の
方々をお招きし、「これからの豊かさ」について考えます。
今回、このテーマにふさわしい素晴らしい経営者の皆様に登壇いただきます。

- マザーハウス株式会社 代表取締役社長 兼 チーフデザイナー 山口 絵理子 さん
- カゴメ株式会社 代表取締役社長 奥谷 晴信 さん
- 前田工織株式会社 代表取締役社長 前田 尚宏 さん

バングラデシュやネパールなどで質の高い革製品や宝飾品などを製造・販売する
マザーハウスの山口社長には「国を超えた人と人とが織りなす豊かさ」について。
カゴメの奥谷社長には「食の恵みと自然が循環する豊かさ」について。土木・建
築用資材などを通じて地域の暮らしを支える前田工織の前田社長には「地方と
共生する豊かさ」について、それぞれの視点からお話しいただく予定です。
私自身も、今からとても楽しみにしています。



目に見えない「真の豊かさ」を 分かち合う「場」へ

私自身は、「真の豊かさ」は、目に見えない価値の中に
あるのではないかと考えています。
例えば、人と人との「つながり」、人生や仕事における
「生きがい」や「やりがい」、豊かな自然や安心できる
社会の中で暮らすという「安心感」。そして何より、
「自分が社会や誰かの役に立っている」という実感かも
しれません。

少なくとも、誰かの犠牲や環境の搾取の上に成り立った
経済的豊かさの中に、本物は見つからないでしょう。

鎌倉投信はこれまで、「これからの日本に本当に必要と
される会社」、すなわち社員とその家族、取引先、地域・
自然環境、顧客・消費者、株主を大切に、持続的で豊か
な社会を育もうと努力を重ねる会社を「いい会社」と
定義し、応援してきました。

そして今、もう一つ、大切なステークホルダーの存在を
忘れてはなりません。これからの時代を担う「未来の
世代」です。

私たちが投資という営みを通じて「いい会社」を応援し
ふやしていくことは、単に資産をふやすことにとどまり
ません。少しでも社会課題を良い方向へ導き、希望ある
社会を次の世代へ引き継いでいくための「場・機会・
つながり」をつくることでもあると感じています。

鎌倉投信は創業以来、投資を通じて皆様の大切な資産を守り
ふやしながら「いい会社」を応援し、人と人、人と社会、
人と自然が調和する関わり合いの「場」を育んできました。
年に一度の受益者総会は、その象徴的な「場」です。

皆様、ぜひご家族連れでいらしてみてください。会場で
笑顔でお会いできることを、心より楽しみにしています。

代表取締役社長 鎌田 恭幸

第17回「結い2101」受益者総会®

投資のその先へ～「いい会社」と考える、これからの豊かさ～

日時：2026年10月4日(日) 時間：開会12:00～閉会16:00(開場10:30～閉場16:20) 入退場自由
会場：横浜港大さん橋ホール

詳細は
こちら



REPORT

「いい会社」訪問記

次世代の介護を目指して INOVEL BASE（イノベルベース）

介護、カラオケ、飲食など多角的に事業を展開し、多くの人々の暮らしを支えるウチヤマホールディングス。同社がこれまでに培ってきた介護の現場知見を起点に、2025年7月に新たな知見とテクノロジーを共創する最先端の拠点が誕生しました。今回訪れたのは、福岡県北九州市にあるオープンイノベーションラボ「INOVEL BASE（イノベルベース）」です。なぜ同社がこのような施設を立ち上げ、運営するのか、そしてそこからどのような未来が創り出されようとしているのか、現地で感じた魅力をご紹介します。



「現場発」のDX推進

ウチヤマホールディングスは全国で介護施設を運営しており、豊富な現場知見とデータの蓄積があります。一方で、中小企業が多い介護業界におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は、人材や費用の制約が常に大きな課題となってきました。同社は介護現場出身の職員みずからが教育や開発を担うICT部門を立ち上げ、「現場発」の運営をおこなっています。現場経験者が主導するからこそ、現場の誰もが納得感を持って進められるDX推進体制が形成されています。

幅広いステークホルダーとの 「共創」の場

取り組み内容を広く公開し、実際に体験・議論できる施設自体は介護業界では稀です。そのため、この施設には介護用品メーカー、同業他社、医療機関、研究者、行政など、幅広いステークホルダーが来訪しています。オープンでリラックスした空間だからこそ、単なる見学にとどまらず、誰もが意見を言い合い、新たな発想を共創する土壌が整っています。社内向けには研修やセミナー、地域向けには“ゆるく集う”会や嚥下体操などが運営されており、「ここに来れば何かしら答えが見つかる」介護の安心拠点を目指す姿勢が印象的でした。

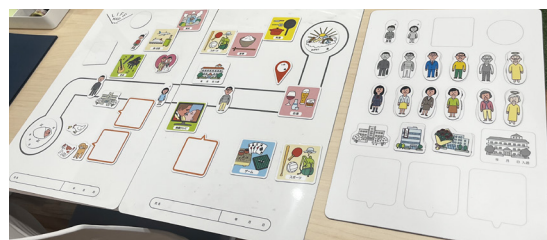
中にはテントが！
開放的な空間



諦めを「生きる希望」に変える ライフマップ

施設内の多様なコンテンツの中で、まず目を引くのは、九州大学との連携によって開発されたアセスメントツール「ライフマップ」です。開発のきっかけは、ある職員がケアマネジャー時代に抱いた違和感でした。介護の現場では、利用者に生活の希望をヒアリングしてケアプランを作成しますが、たずねても「もう年だから希望なんて言えないよ」と諦めを口にする方が多く、本当の願いを引き出せない現実がありました。そこから、約10年の歳月をかけてライフマップが誕生しました。

従来型のライフストーリーは、履歴情報を整理することに重点が置かれていました。一方、ライフマップは人生の歩みを振り返りながら、単に「Yes / No」で答える質問ではなく、具体的な思い出の品や写真を手掛かりに問いかけることで、利用者自身の主体的で生き生きとした「語り」や本音を引き出す設計が特徴です。「もう一度お店のラーメンを食べたい」という強い情熱がリハビリの動機となって車椅子から歩けるまで回復したケースや、施設内で「スナック」を開きたいという願いを叶えたケースなど、本人の尊厳と希望に根差した活動が次々と実現しています。



ライフマップを活用し、本人とともに人生を振り返る。

現場主導で厳選されたDXツール

同社では、利用者の負担軽減と過酷な介護現場の人手不足の解消の両立を目指し、DXの活用を進めています。施設内には、見守りセンサー「アンシエル」をはじめ、AI

利用の効率的な記録アプリ「Fonlog」など、現場主導で厳選されたツールが並びます。また、機器を導入するだけでなく、社



内に「ケアクリエイター」という独自のICT資格を設けて手当を支給。週1回のオンライン勉強会を継続するなど、

現場に定着させる仕組みづくりを重視しています。さらに、機器の利用から蓄積される各種データを統合・可視化。経験や勘に頼りがちだった介護現場に客観的根拠をもたらしています。ケアに活かすだけでなく、ご家族への説明根拠、職員の負担感を早期に察知、ヒヤリハット報告を分析して事故を減少と、データは利用者・家族・職員の三方よしの環境づくりのために活用されています。

高齢化というアジア共通の課題に立ち向かう

こうした取り組みは国内にとどまりません。同社は、福岡県主導でタイとの技術連携を模索するなど国際展開にも意欲的です。アジア諸国においても急速な高齢化が進んでおり、日本の介護手法を手本にする国は多いものの、DXの導入がロボットやセンサーによる省力化に偏り、高齢者の「心のケア」が軽視されるケースが少なくないそうです。単なる省力化に偏らず、入居者のウェルビーイング向上を最終ゴールに据える取り組みは、アジア共通の課題を解決する重要な鍵になると感じます。

おわりに：

持続可能なウェルビーイング社会の実現へ

今回の訪問を通じて強く感じたのは、ウチヤマホールディングスが目指しているのは単なる「介護の効率化」ではなく、利用者、家族、職員など、関わるすべての人が自分らしく豊かに生きられる「持続可能なウェルビーイングの社会」なのだということです。INOVEL BASEという共創拠点から生まれる新たな介護の在り方が、日本だけでなく世界へと広がっていくとする同社の挑戦に、期待が膨らむ訪問となりました。（資産運用部）

画像出所：株式会社さわやか倶楽部（ウチヤマホールディングスグループ会社）（<https://sawayakaklub.jp/inovel-base>）

「結い 2101」運用報告 資産形成

2026年7月の日本株式市場

※1 東証株価指数（TOPIX）（配当込み） ※2 東証株価指数（TOPIX）Small（配当込み）

7月の日本株市場は小幅に上昇しました。上旬は、AI（人工知能）・半導体関連企業が前月までの急騰の反動から大きく下落した一方、出遅れ感のあった素材株や自動車株に見直し買いが入り、相場を下支えしたことで小幅高となりました。中旬は、AI関連企業の巨額の設備投資に伴う財務負担懸念や、中東情勢を巡る警戒感の再燃を背景に、下落しました。下旬は、米国によるイランへの攻撃の一時停止が好感された一方、中国勢の台頭によるAI関連企業を巡る競争激化への警戒感が重荷となり、方向感に欠ける展開となりましたが、月末には日米企業の好決算が好感され、AI・半導体関連企業を中心に株価は回復しました。配当込みTOPIX※1は前月末比で0.2%、配当込みTOPIX Small※2は同0.3%それぞれ上昇しました。業種別では、海運業、ゴム製品、鉄鋼が上昇した一方、非鉄金属、ガラス・土石製品、電気機器などが下落しました。

2026年7月の「結い 2101」

「結い 2101」の7月末の基準価額は前月末比で0.1%上昇し、26,959円となりました。AI・半導体関連企業として注目されていた「東京応化工業」や「TOTO」などが前月までの急騰の反動から下落しました。一方で、大手エレクトロニクス企業から買収提案を受けたとの報道があった「タムロン」や、株価指標面の割安感が意識された「サイボウズ」などが上昇しました。7月末時点の投資先数は、新規組入をおこなわなかったことから前月末と変わらず、72社です。

7月末時点の株式組入比率は、株価下落を受けて割安感が高まったと判断した投資先企業の株式を買い増したことから前月末から小幅に上昇し、83.7%となりました。債券組入比率は、前月末と変わらず1.5%となりました。



長田 陽平

資産運用部
ファンドマネージャー

2013年総合リース会社に入社。資金調達や決算業務を経験した後、プロジェクトファイナンス等のフロント業務に携わる。2020年10月に鎌倉投信に入社。東京生まれ、千葉育ち。

「結い 2101」運用状況（月次）

基準日：2026年7月末日

運用方針

概況

「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用をおこなうことを基本とします。

基準価額

26,959円

これからの日本に必要とされる企業

顧客・消費者、社員とその家族、取引先、地域、自然・環境、株主等を大切に、持続的で豊かな社会を醸成できる企業

純資産総額

55,066百万円

このような企業を投資先の「いい会社」として選定するため、次のように「人・共生・匠」というテーマで評価しています。

顧客数

22,122人

うち「積立購入」を選択されている顧客数10,913人



優れた企業文化を持ち、人財を活かす企業



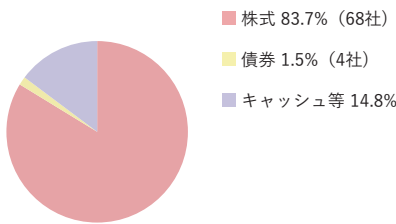
循環型社会を創る企業



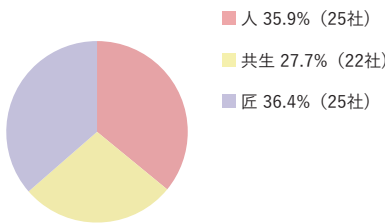
日本の匠な技術、感動的なサービスを提供する企業

信託財産の状況（比率は時価ベース）

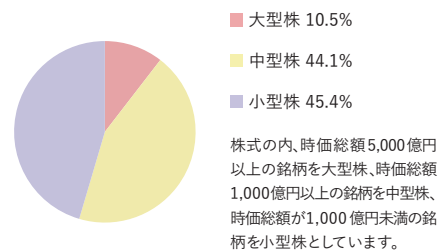
ポートフォリオの資産構成比



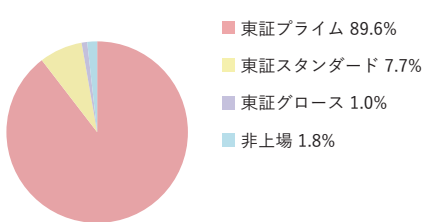
投資先のテーマ別構成比



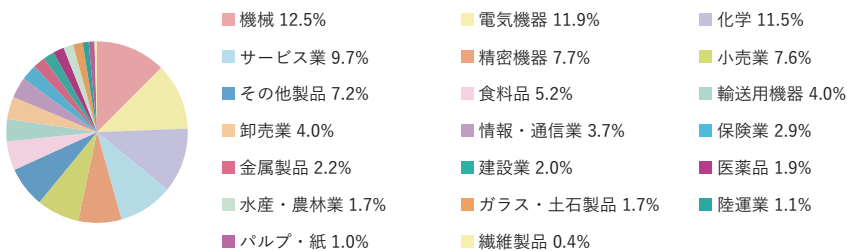
株式の規模別構成比



有価証券の市場別構成比



投資先の業種別構成比



開示基準に達した新規投資先 現在、未開示の投資先はありません。

組入上位10銘柄

収益分配金の実績

コード	会社名	テーマ	純資産総額比	鎌倉投信の視点
3097	物語コーポレーション	人	1.9%	自分物語をつむぎ、世の中をイキイキさせる、いい会社
7740	タムロン	匠	1.8%	ファンの多いニッチな、いい会社
7956	ビジョン	人	1.8%	「愛」を経営理念に掲げる、いい会社
7366	LITALICO	共生	1.8%	障碍のない社会をつくる、いい会社
3182	オイシックス	共生	1.8%	安心・安全な食品を提供する、いい会社
4776	サイボウズ	人	1.8%	多様な働き方を認め、公明正大で個人が自立した組織を目指すいい会社
7309	シマノ	匠	1.8%	「こころ躍る製品」で人々の生活を豊かにする、いい会社
7931	未来工業	人	1.8%	社員一人ひとりが、「常に考える」、いい会社
7839	SHOEI	人	1.7%	契約社員がやる気を出せる、いい会社
3176	三洋貿易	人	1.7%	自由闊達な社風のもと、顧客の最適解を提供する、いい会社

第4期	2013年7月19日	500円
...		
第15期	2024年7月19日	0円
第16期	2025年7月22日	0円
第17期	2026年7月21日	0円

設定来合計 500円

- ✓ 分配金額は1万口あたりの金額です。
- ✓ 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。
- ✓ 「結い 2101」は分配金相当額を自動的に分配後の基準価額で再投資する分配再投資専用の投資信託です。

運用目標

リターン目標（信託報酬控除後）

長期的に投資先企業の業績成長に見合ったリターンの獲得を目指す

参考情報

投資先企業の業績成長率
年率4.8%～7.1%

リスク目標

国内株式市場よりも基準価額の変動リスクを抑制し、下落時の不安を軽減する運用を目指す

- ✓ 運用目標は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。
- ✓ 2010年3月29日から2025年4月30日までは、リターン（信託報酬控除後）4%以上・リスク10%以内を目標としていました。
- ✓ 「投資先企業の業績成長率」とは、投資先の上場企業全体のファンド保有分に対する会計上の純資産および配当の合計額の1年間の増加率（増資は除く）の過去5年月次移動平均のうち、過去5年間における最大値及び最小値から信託報酬率を考慮してそのレンジを示しています。

運用パフォーマンス

基準価額の推移



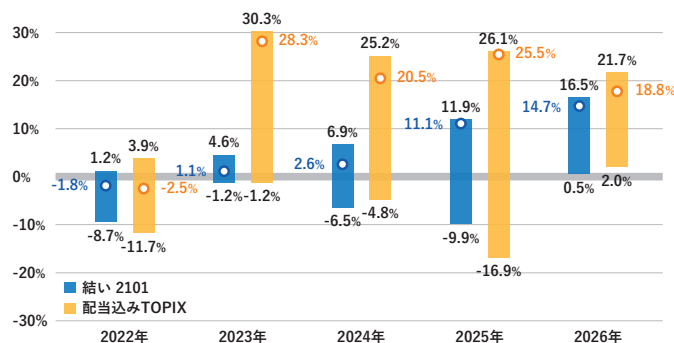
- ✓ 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い 2101」の信託報酬率1.10%（年率・税込）を控除後のものです。
- ✓ 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- ✓ 「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった（＝収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した）ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社が算出しています。

運用成績

	設定来	10年	5年	3年	1年	1ヵ月
リターン（累積）	179.4%	73.4%	27.7%	26.9%	22.2%	0.1%
	設定来	10年	5年	3年		
リターン（年率）	6.5%	5.7%	5.0%	8.3%		
リスク（年率）	8.7%	8.5%	8.2%	8.6%		
リターン÷リスク	0.75	0.67	0.61	0.96		

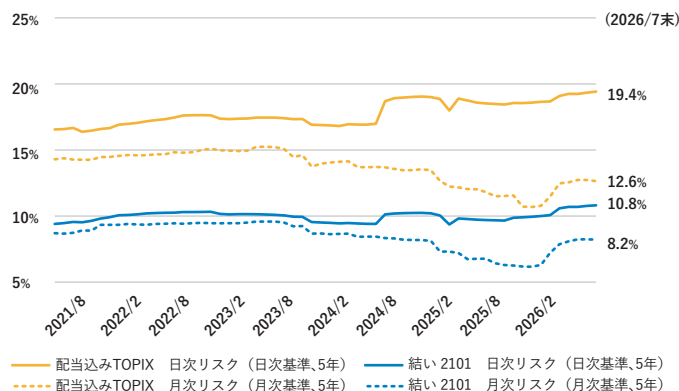
- ✓ リターン・リスクは、支払済み収益分配金（税引前）を再投資した場合の分配金込の数値です。お客様毎の実際の運用成績とは異なります。
- ✓ リターン（年率）とは、直近3年間、5年間、10年間および設定来の収益分配金込基準価額の収益率を年率換算で表示したものです。
- ✓ リスク（年率）とは、直近3年間、5年間、10年間および設定来の収益分配金込基準価額の月次収益率の標準偏差を年率換算で表示したものです。
- ✓ 「リターン÷リスク」は、運用の効率性を測る指標として表示しています。

各年の収益率

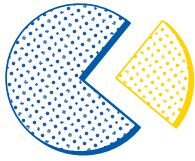


- ✓ 「結い 2101」は特定の市場指数をベンチマークとした運用ではありませんが、「結い 2101」と国内株式市場の値動きやその変動幅の違いなどをご理解いただくため、参考として配当込みTOPIX（以下：TOPIX）の収益率を掲載しています。
- ✓ 青色の棒グラフは、各年内の収益分配金込基準価額の最大値（年初来高値、日次ベース）、最小値（年初来安値、日次ベース）、および各年末の基準価額を、各前年末の基準価額と比較した場合の収益率を表しています。
- ✓ 黄色の棒グラフは、各年内のTOPIXの最大値（年初来高値、日次ベース）、最小値（年初来安値、日次ベース）、および各年末のTOPIXを、各前年末のTOPIXと比較した場合の収益率を表しています。

実績リスク（年率）の推移



- ✓ リスクは、収益率のブレの大きさを示した指標であり、標準偏差によって計測しています。標準偏差が大きいほど、収益率のブレ幅が大きい（リスクが高い）ことを意味します。
- ✓ 日次リスク、月次リスクは過去5年間の日次収益率、月次収益率の標準偏差を年率換算で表示したものです。日次リスクと月次リスクの値は乖離することがあります。
- ✓ 「実績リスクの推移」および「各年の収益率」に関する詳しい説明は、結いだより187号（2025年10月発行）をご確認ください。



第17期 収益分配金

今回は、2026年7月21日の「結い 2101」第17期決算における収益分配について、解説します。

「結い 2101」の分配方針

投資信託では、運用を通じて得た収益（配当・利子収入や売買益）を原資として、投資家に支払う金銭を「収益分配金」といいます。「結い 2101」では、目論見書の分配方針欄に記載のとおり、毎決算時に、基準価額水準や市況・制度動向等を考慮して、収益分配の可否を検討します。分配をおこなう場合は、社内のガイドラインに則って、投資政策委員会で分配単価（10,000口あたりの分配金額）を決定します。分配金は、単純に言えば基準価額を分配単価の下げるということで、課税タイミングの観点を除くと、資産価値の観点で経済的な効果に大きな違いはありません。具体的には、基準価額が20,000円であるときに500円分配すると、基準価額は19,500円となり、分配金を再投資する場合は税引き後の金額で再投資されます。なお、「結い 2101」は分配金再投資専用の投資信託です。収益分配金は、税引き後、無手数料で「結い 2101」に再投資されますので、収益分配する場合でもお手元に分配金が届くことはありません。

第17期決算の分配

第17期は分配を見送りました。

分配を見送った主な理由は、現在のNISA制度のもとでは、分配金再投資分が非課税枠を超えると課税対象として扱われる場合があるなど、NISA制度の本来の趣旨と合致しないケースが発生しかねないことにあります。なお、今後の収益分配方針に関して変更はありません。決算の都度、分配の是非を判断します。（資産運用部 長田）

直
販
口
座
向
け

受益者専用サイト 「My 鎌倉倶楽部」のご案内

My 鎌倉倶楽部では、残高照会や各種手続きができます。また、受益者総会や運用報告会など、イベントの限定動画の視聴も！登録は鎌倉投信ホームページからお願いします。

直販口座「積立サービス」取引スケジュール

金額変更・中止締切日※1	引落日※2	入金日※3	約定日※4	受渡日※5
8月10日	8月27日	9月3日	9月4日	9月7日

※1 毎月10日（休日の場合は前営業日）：この日に受付した分までが当月引落より適用されます。締切日を過ぎますと、当月の引落および引落資金での投資信託購入がおこなわれます。解約（換金）を希望される方は、受渡日以後に残高の解約（換金）をしてください。
※2 毎月27日（休日の場合は翌営業日）：お客様が指定した金融機関の口座から購入額を引き落とします。
※3 引落日の5営業日後：収納代行会社を通して購入額が当社に入金されます。
※4 引落日の6営業日後：この日の基準価格で購入します。
※5 引落日の7営業日後：この日に取引報告書を交付します。

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供を目的としたもので、投資信託販売用資料ではありません。

<資産運用に関する注意事項> 投資信託のお申し込みに際しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

- ◆投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。また、「結い 2101」を証券会社を通じて購入していない場合は、投資者保護基金の保護対象でもありません。
- ◆投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ◆「結い 2101」は、主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当投資信託の基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て「結い 2101」の投資者（受益者）の皆さまに帰属します。したがって、投資者（受益者）の皆さまの投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ◆「結い 2101」は信託財産留保額はありません。運用管理費用（信託報酬）は、純資産総額に対して1.1%（税込・年）です。購入時手数料やその他費用の詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をお読みください。
- ◆本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ◆本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料の利用権は、鎌倉投信に帰属します。
- ◆「結い 2101」のご購入は、投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご理解いただいた上、ご自身でご判断ください。ご不明な点は販売会社にお問い合わせください。

<苦情処理措置および紛争解決措置について>

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（連絡先：0120-64-5005）を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社：金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第2293号
加入協会：一般社団法人 資産運用業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会